

# 第29回 世界少年野球大会 福島大会 実績報告書

Field of Dreams ~つながろう! 福島と世界の子どもたち~  
Field of Dreams Connecting Children Around the World to Fukushima



第29回 世界少年野球大会 福島大会実行委員会

## 【大会趣旨】

世界少年野球大会は、日米のホームランキング王貞治、ハンク・アーロンの両氏が、正しい野球を全世界に普及・発展させるとともに、世界の子どもたちの友情と親善の輪を広げようとの趣旨で、1990年に第1回大会をアメリカ・ロサンゼルス市で開催して以来、毎年夏に開催しています。

第29回目となる今大会は世界14か国・地域から少年少女を招待し、福島県福島市で2019年7月30日（水）から8月7日（木）までの9日間開催します。野球教室には、日本を含む世界13か国から119名が参加。また、海外1チームの15名が福島県の地元チームと国際交流試合に参加します。

世界の子どもたちが野球教室や国際交流試合、そして様々な交流行事を通じて言葉の壁や人種、国境を越えて友情の輪を広げ、国際親善に貢献します。

## 【主催者等】

### 〔主 催〕

一般財団法人世界少年野球推進財団（WCBF：World Children's Baseball Foundation）  
福島県  
福島市  
公益財団法人日本野球連盟

### 〔実施主体〕

第29回世界少年野球大会 福島大会実行委員会

### 〔主 管〕

世界野球ソフトボール連盟（WBSC：World Baseball Softball Confederation）

### 〔後 援〕

総務省 外務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 スポーツ庁  
公益財団法人全日本軟式野球連盟 NHK NHKグローバルメディアサービス  
朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 福島民報社 福島民友新聞社

### 〔特別協力〕

一般財団法人全日本野球協会 公益財団法人全日本大学野球連盟  
日本プロフェッショナル野球組織（NPB）  
アメリカ・メジャーリーグ・ベースボール（MLB）

### 〔特別協賛〕

アサヒ飲料株式会社 カシオ計算機株式会社 一般財団法人自治総合センター  
ジャパンロイヤルゼリー株式会社 セコム株式会社 ソフトバンクグループ株式会社  
大王製紙株式会社 大正製薬株式会社 デサントジャパン株式会社  
株式会社東京ドーム TOTO株式会社 ナガセケンコー株式会社 西川株式会社  
合同会社日本MGMリゾート 日本航空株式会社 福岡ソフトバンクホークス株式会社  
ミスノ株式会社 横浜ゴム株式会社

### 〔福島大会協賛企業・団体〕

株式会社山水荘  
株式会社ホンダカーズ福島 東北旭紙業株式会社 株式会社セレスポ  
東邦銀行 株式会社彌満和製作所 株式会社ウェディングエルティ  
株式会社オノヤスポーツ 一般財団法人 民族衣裳文化普及協会

[協賛]

えいへいじ緑清会 株式会社 GABA JA 全農たまご株式会社  
セガサミーホールディングス株式会社 全国農業協同組合連合会  
北陸民放クラブ・福井 雪印メグミルク株式会社

[協力]

株式会社千修 日新航空サービス株式会社 株式会社博報堂 DY メディアパートナーズ  
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

【大会概要】

世界野球ソフトボール連盟（WBSC）選任のコーチによる野球教室と、中華台北チームと福島県内の地元チームとの国際交流試合を行います。併せて、日本の文化に対する理解を深めるとともに、友情と親善の輪を広げる目的で交流行事を行います。

[期 日]

2019年7月30日（水）～ 8月7日（木）

[大会スローガン]

「Field of Dreams ～つながろう！福島と世界の子どもたち～」  
Field of Dreams Connecting Children Around the World to Fukushima

[参加国及び地域]

- |              |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| 1.アルゼンチン     | 2.オーストラリア | 3.中華人民共和国 |
| 4.中華台北       | 5.フランス    | 6.ガーナ     |
| 7.ラオス人民民主共和国 | 8.ネパール    | 9.オランダ    |
| 10.ペルー       | 11.スイス    | 12.タイ     |
| 13.アメリカ合衆国   | 14.日本     |           |

[参加者 宿 舎]

野球教室参加者：YUMORI ONSEN HOSTEL by SANSUISO  
(福島市土湯温泉町字堂の上 7-1)  
交流試合参加者：あづま総合体育館 宿泊施設 (福島市佐原字神事場 1 番地)

[野 球 教 室]

8月1日（木）～8月6日（木）  
あづま総合運動公園 第2多目的運動広場・スポーツイベント広場  
(福島市佐原字神事場 1 番地)

[国際交流試合]

8月1日（木）  
十六沼公園 スポーツ広場 (福島市大笹生字俎板山 341)  
8月2日（金）～8月6日（木）  
あづま総合運動公園 軟式野球場 (福島市佐原字神事場 1 番地)

[式典会場]

- ・ウェルカムパーティー (7月31日) / あづま総合体育館 サブアリーナ
- ・開会式 (8月1日) / あづま総合体育館 メインアリーナ
- ・グッドウィルパーティー (8月5日) / ウェディング エルティ
- ・記念パーティー (8月5日) / ウェディング エルティ
- ・記念植樹 (8月6日) / あづま総合運動公園 あづま球場周辺
- ・閉会式 (8月6日) / あづま総合体育館 メインアリーナ

[交流行事]

- ・8月 2日 タグラグビー交流 (あづま総合体育館 メインアリーナ)
- ・8月 3日 土湯こけし絵付け体験・桃の収穫体験 (四季の里と大友農園)  
わらじ祭り見学 (会場周辺)
- ・8月 4日 じょーもぴあ宮畑見学 (じょーもぴあ宮畑)
- ・8月 5日 子どもの夢を育む施設「こむこむ館」見学  
(子どもの夢を育む施設「こむこむ館」)

日 時：8月4日・5日【応用練習】9：00～12：00  
 会 場：あづま総合運動公園 第2多目的運動広場・スポーツイベント広場  
 内 容：1. 中継プレー 2. ダブルプレー 3. トスバッティング 4. リード/盗塁  
 5. スライディング 6. ランダウンプレー 7. ティーバッティング 8. キャッチャー



※1日のまとめとして、その日の全てのクリニック終了後に試合を行った。

日 時：8月6日【野球教室総括としての試合】9：00～12：00  
 会 場：あづま総合運動公園 第2多目的運動広場・スポーツイベント広場  
 内 容：トーナメント方式で試合を実施。

最終戦は2会場の最多勝チーム同士が対戦し白熱した試合を繰り広げた。





福島民報 2019年8月1日(木)

### 世界少年野球の歓迎会 各国の球児、食事で交流

福島市のあづま総合体育館で31日に行われた第29回世界少年野球大会のウエルカムパーティーでは、参加者が海外の同世代と料理などを交し、気持ちを高ぶらせた。飯坂温泉八幡神社祭太鼓保存会の演奏で幕を開けた。世界少年野球推進財団の王貞治理事長が「自ら話し掛けて友達をつくらしてほしい」、内堀雅雄知事が「温泉や果物で福島を好きになってください」と呼び掛けた。木幡浩市長が「皆さんの全力プレーと笑顔が復興の力になる」と歓迎し、



ウエルカムパーティーで食事を笑顔で楽しむ各国の少年少女

福島のあづま総合体育館で31日に行われた第29回世界少年野球大会のウエルカムパーティーでは、参加者が海外の同世代と料理などを交し、気持ちを高ぶらせた。飯坂温泉八幡神社祭太鼓保存会の演奏で幕を開けた。世界少年野球推進財団の王貞治理事長が「自ら話し掛けて友達をつくらしてほしい」、内堀雅雄知事が「温泉や果物で福島を好きになってください」と呼び掛けた。木幡浩市長が「皆さんの全力プレーと笑顔が復興の力になる」と歓迎し、

乾杯の発声をした。県のマスコット「キビタン」と市の観光PRキャラクター「ももりん」が人気を集めた。1日は午前10時半から同体育館で開会式を行い、午後1時半から市内のあづま総合運動公園で野球教室(10、11歳)、同2時から十六沼公園で交流試合(9、11歳)が始まる。6日まで野球教室、交流試合、市内見学などを予定している。海外の選手団は7日に離日する。大会は「世界のホームラン王」と呼ばれた王貞治氏と、米大リーグ歴代2位の本塁打を放ったハンク・アーロン氏が提唱し、競技の世界的普及や少年少女の友好親善を旨として1990(平成2)年から始まった。東北での開催は1996年の盛岡大会以来23年ぶり2度目。

福島民友新聞 2019年8月1日(木)

## 福島大会 友情深めて

### 世界少年野球 王さん迎えきょう開幕



ウエルカムパーティーに海外から参加し他の参加者と交流を深める子どもたち。31日午後、福島市・あづま総合体育館

第29回世界少年野球大会福島大会は8月1日、福島市で開幕する。6日まで、野球教室や交流行事のほか、県内の少年野球チームと台湾が国際交流試合を繰り広げる。31日にはウエルカムパーティーがあづま総合体育館で開かれ、日本を含む14カ国・地域の10、11歳の120人が友情の輪を広げた。

大会は、野球で世界の子どもたちに友情と親善の輪を広げようと、日米の本塁打王の王貞治さんとハンク・アーロンさんの提唱で始まった。福島大会は、王さんが理事長の世界少年野球推進財団などが主催。海外参加国・地域は米国や中国、アルゼンチン、ペルー、オランダ、スイス、フランス、タイ、ネパール、オーストラリア、ガーナ、ラオスと台湾。

パーティーでは、王さんが「友達をつくり大いに盛り上げてほしい」、内堀雅雄知事が「福島の魅力を感じ、福島を大好きになってほしい」と述べた。アルゼンチンから参加したマテオ・ケレース君(11)は「日本に来るのは人生最大のイベント」、福島市の添田悠介君(11)は「森合小6年」は「外国人の友達をつくりたい」と話した。1日は午前10時30分から同体育館で開会式、午後2時から同市の十六沼公園で交流試合が行われる。